事業者名	山陽小野田市								
機器名	電気加熱原子吸光光度計装置								
写真									
特徴・用途	電気加熱原子吸光光度計装置は、元素分析(特に有害金属成分)を定性・定量を行う分析機器であり、フレーム原子吸光光度計に比べて数百倍の高感度が得られる装置である。特にクロムなど難分解性酸化物を作りやすい元素でも干渉を避けることが可能であり超微量な金属の測定に対応できる。								
設置場所	山陽小野田市環境調査センター 								
利用状況	年月	稼働日数 (日)	依頼試験・ 依頼分析 (件)	技術指導 (件)	試験設備件数(件)	貸出・利用時間(時間)	受託研究· 共同研究 (件)	その他 (件)	利用件数 計(件)
	平成30年2月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成30年3月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成30年4月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年5月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年6月	7	112	0	0	0	0	0	112
	平成30年7月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成30年8月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成30年9月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成30年10月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成30年11月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成30年12月	0	0	0	0	0	0	0	0
	平成31年1月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成31年2月	14	224	0	0	0	0	0	224
	平成31年3月	0	0	0	0	0	0	0	0
利用者等の声	特に中小企業は高額な分析機器を整備することは困難であり、企業規模や資金力が相対的に低く、人材の層も薄いため、環境に不適な製品を製造したり、危機が発生した場合、企業生命への致命傷になりかねない。 その中、当調査センターがJKAの補助事業で整備した機器によって、柔軟かつ迅速に調査分析をして頂いて、我々中小企業はとても助かっている。								
補助事業概要 の広報資料	https://hojo.keirin-autorace.or.jp/shinsei/document/list/kikai/h29/pdf/29-063koho.pdf								